KOIZUMI

製造発売元：コイズミファニテック株式会社

# コイズミ学習机
# 取扱説明書（保証書付き）

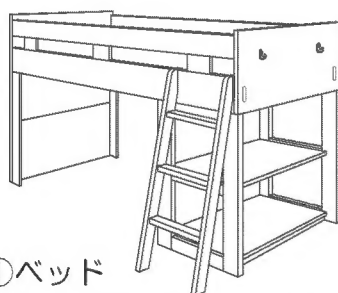
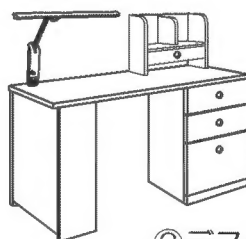
DRK−1ＴＩ−CM3
**保存用**

このたびはコイズミ学習机をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、お子様の成長に合わせて組み替えができるシステムベッドです。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。

## キッズコンポ
## HCM-992N NS

## 目　次



※組み立ての前に
●この商品は部品·部材点数が多いため、各ユニットごとの組み立てをしてください。
●本製品の組み立てにあたり、［+］ドライバーを用意ください。
●組み立てる順番は①ベッド、②デスク、③チェストの順で組み立ててください。

①ベッド

②デスク

③チェスト

### この取扱説明書のマークについて　SAFETY INFORMATION

●この説明書には下記のマークを付けています。
⚠ 拡大損害が予想される事項
禁止行為　分解禁止　必ず行う
●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
●この説明書は保証書を兼用しています。大切に保管してください。
●本製品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

# 1　安全上のご注意　ご使用の前によくお読みください。

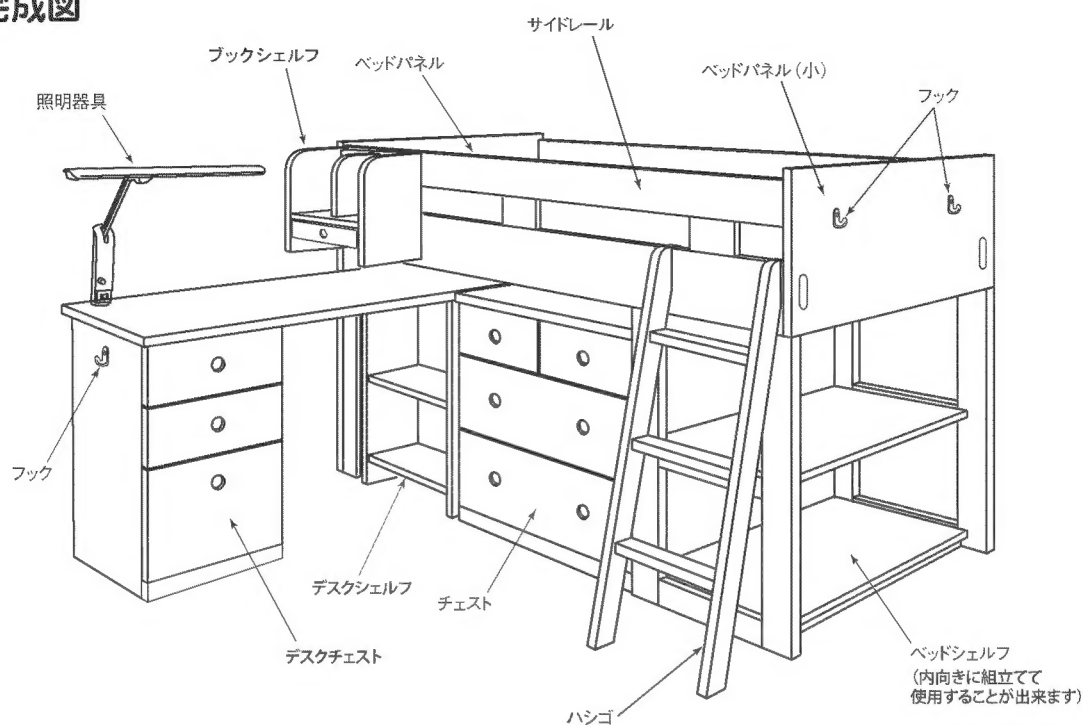
⚠ 警告　死亡や重傷の原因となる。

| 表示 | 重要事項 | 危害・損害 | |
|---|---|---|---|
| | ●激しく動かしたり、押して遊んだりしない。 | ケガや器物損傷の原因になります。 | |
| | ●ベッドの上で、とんだりはねたりしない。 | ケガや破損の原因になります。 | |
| | ●敷ふとん類の合計した厚みは、100mm以下にする。 | 落下などケガの原因になります。 | 合計の厚さ 100mm以下 |
| | ●手すり、前わく、後ろわくなどに腰かけたり、乗ったり、ぶら下がったりしない。 | 落下などケガの原因になります。 | |
| | ●ベッドを移動する時は必ず2人で行う。 | ケガや器物損傷の原因になります。 | |
| | ●引出しや引手の上に乗ったり、扉等にぶら下ったり、むりな力で引っ張ったりしない。 | ケガや器物損傷の原因になります。 | |

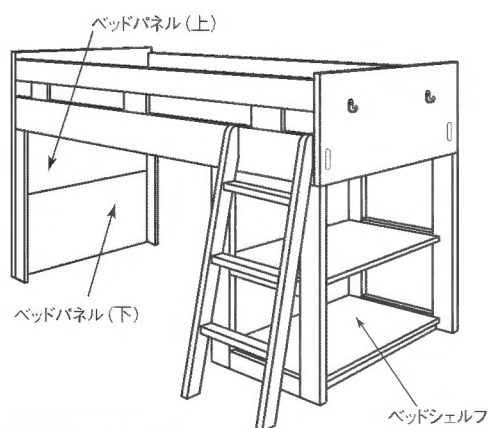
⚠ 注意　ケガや器物破損の原因となる。

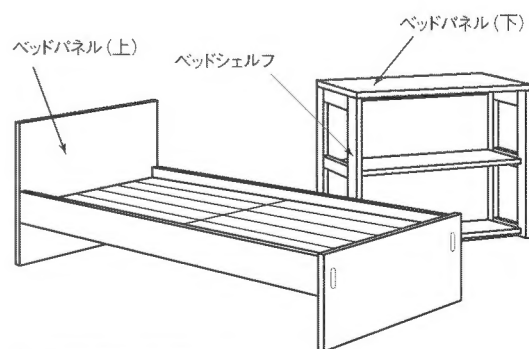
| 表示 | 重要事項 | 危害・損害 | |
|---|---|---|---|
| | ●机などの上に立ったり、踏み台代りに使ったり、不安定な姿勢で座ったりしない。 | ケガや器物損傷の原因になります。 | |
| | ●固定用ネジ類がゆるんだまま使用しない。 | ケガや器物損傷の原因になります。 | |
| | ●家具の上に、加熱したなべ・やかん等を直接置かない。 | 損傷の原因になります。 | |
| | ●天板以外にセロテープ等を貼らない。 | 器物損傷の原因になります。 | セロテープ 表面 |
| | ●天板に傷がつかないようにマットや下敷を使ってください。 | 損傷の原因になります。 | |
| | ●チェストの開閉は確実に行う。 | ケガや破損の原因になります。 | |
| | ●棚ダボは確実に取り付ける。 | ケガや破損の原因になります。 | |
| | ●本製品を改造しない。 | ケガや器物損傷の原因になります。 | |
| | ●子供の遊び道具にしない。 | ケガや器物損傷の原因になります。 | |

## 2　各部の名称

### 完成図

**デスクチェスト、デスクシェルフは**
**左右付替え可能です**

ベッドの組立は下の2パターンからお選びいただけます。

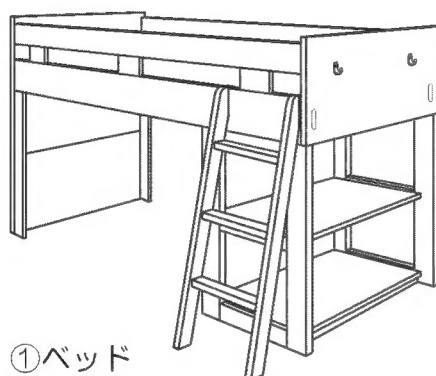
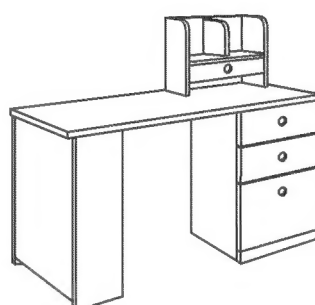
### ■ ミドルベッドタイプ

組立方法(P5～P7)

### ■ ローベッドタイプ

組立方法(P8～P9)

## 3 組立方法

### ＜組み立ての前に＞

●この商品は部品･部材点数が多いため、各ユニットごとの組み立てをしてください。

●組み立てる順番は①ベッド、②デスク、③チェストの順で組み立ててください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ! | ●組み立ては、必ず2人以上でおこなう。 | ケガや器物損傷の原因になります。 |  |

●使用しなかった部品は、組み替えなどの際に必要になる場合がありますので、大切に保管しておいてください。

### ＜組立前の準備＞

●本製品の組み立てにあたり、［＋］ドライバーを用意ください。
※ネジ穴を傷めるおそれがあるので、適切な大きさの道具で作業する。

| | | |
|---|---|---|
| ! | ●金具を取り付けるときは軍手などを着用する。 | ケガの原因になります。 |
| ! | ●組み立てや移動の際は、床に段ボールなどの保護材を敷いて作業する。 | 器物損傷の原因になります。 |
| ! | ●他の部分にネジ穴をあけるなどの行為は、絶対にしない。 | 器物損傷の原因になります。 |

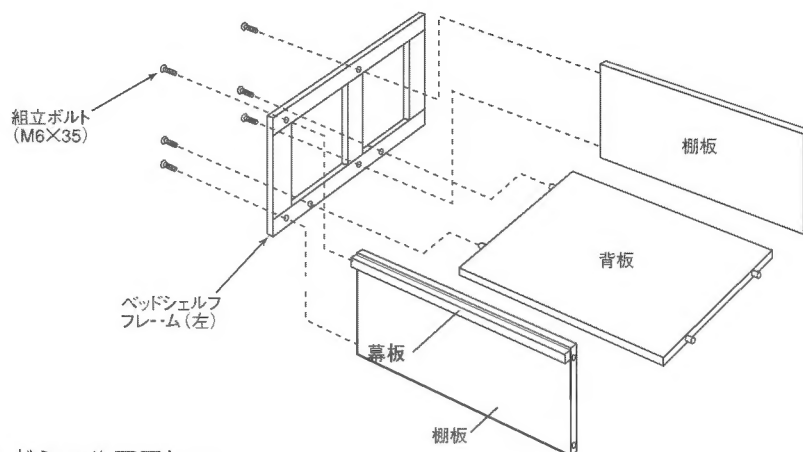
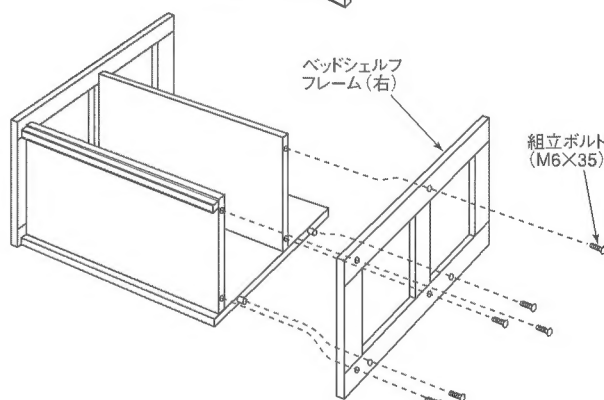
●設置する部屋の状況などに合わせて、使用するタイプを決定してから、組立を始めてください。

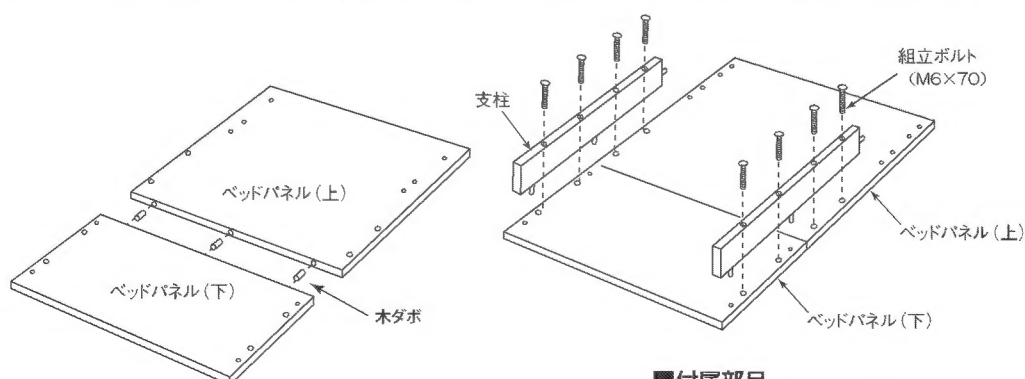
# 3　組立方法（ミドルベッド）

## (1)ベッドシェルフの組立

①ベッドシェルフフレーム（左）と棚板1枚、幕板付棚板1枚、背板を組立ボルト（M6×35）6本にて仮締めしてください。

■付属部品

| 部　品　名 | 部品品番 | 数量 |
|---|---|---|
| 組立ボルト（M6×35） | GKU4BA635 | 12本 |

②次に反対側のベッドシェルフフレーム（右）を組立ボルト（M6×35）6本で組上げてください。
組み上がりましたら、すべてのボルトをしっかりと締め付けてください。

## (2)ベッドパネルの組立

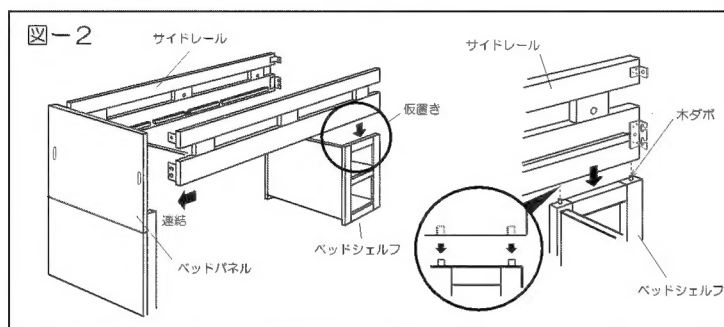
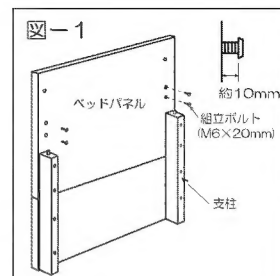
①ベッドパネル(上)・(下)を木ダボ3本で図のように合わせてください。
②ベッドパネル(上・下)に支柱2本を組立ボルト(M6×70)8本にて取り付けてください。

■付属部品

| 部　品　名 | 部品品番 | 数量 |
|---|---|---|
| 組立ボルト（M6×70） | GKU4BA670 | 8本 |
| 木ダボ（Φ8×30） | ―――― | 3本 |

❗ ベッドパネル(下)の上下方向に注意してください。

## (3) ベッドの組立

① (2)で組立てたベッドパネルに組立ボルト(M6×20mm)4本を仮止めします。(ネジ部が10mm程度残るように止める)(図-1　図-3)

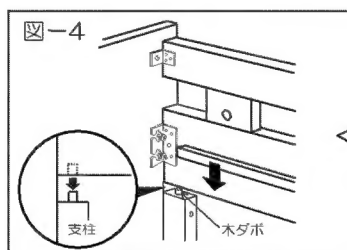
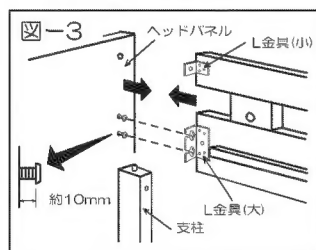
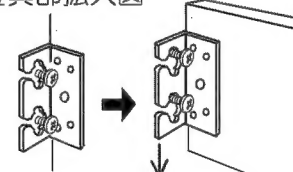
② 次にサイドレールをベッドシェルフに仮置きさせた状態で、ベッドパネルとサイドレールを以下③の手順の通り連結します。
この時、仮置きしたサイドレールが脱落しないよう支えながら作業を行なってください。(図-2参照)

■付属部品

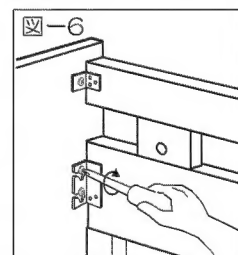
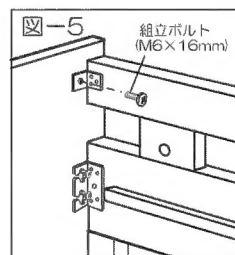
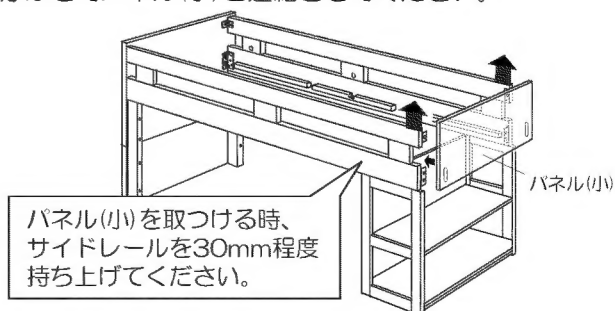
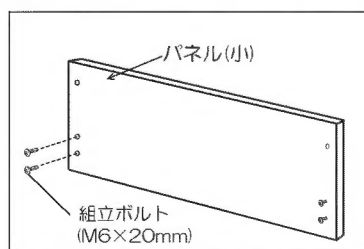
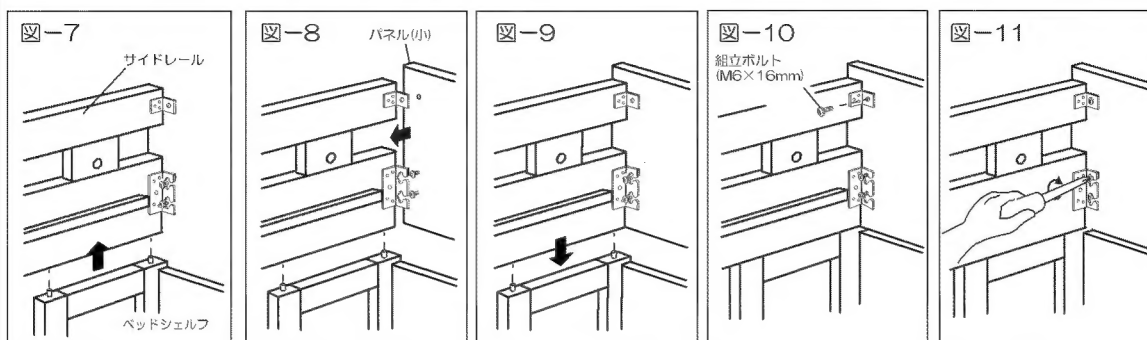
| 組立ボルト(M6×20mm) | GKU4BA620 | 8本 |
|---|---|---|
| 組立ボルト(M6×16mm) | GKU4BA616 | 4本 |
| 組立ボルト(M6×70mm) | GKU4BA670 | 4本 |
| 開き止桟固定ボルト(M6×20mm) | GKU4BA620 | 2本 |
| 開き止桟固定ナット | GKU4JN14A | 2本 |
| 樹脂カバー(大)白 | SZC9UKPDW | 4個 |
| 樹脂カバー(小)白 | SZC9UKPCW | 4個 |

※HCM-993PK / HCM-994BL

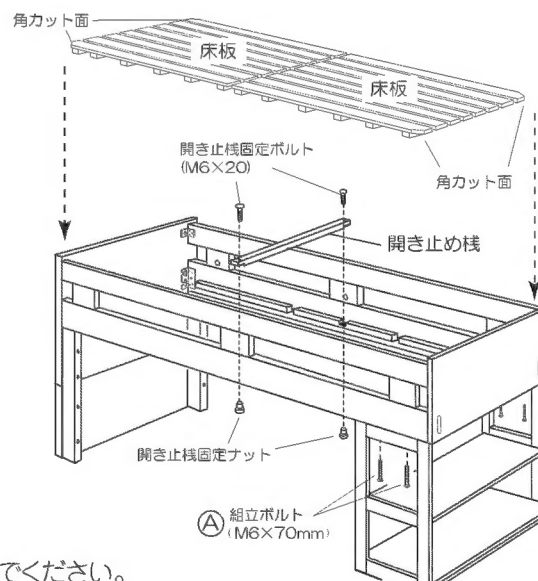
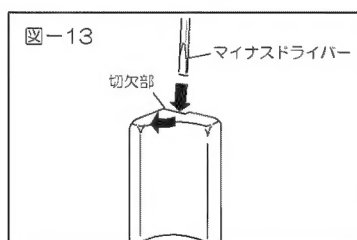
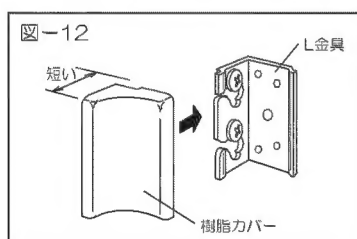
| 樹脂カバー(大)ベージュ | SZC9UKPDV | 4個 |
|---|---|---|
| 樹脂カバー(小)ベージュ | SZC9UKPCV | 4個 |

※HCM 991SK / HCM 992NS

③ サイドレールのL金具(大)中央の孔に①で取付けたベッドパネルのボルトを通しながら支柱上部の木ダボとサイドレール下面の穴を合わせサイドレールを連結します。(図-3,図-4参照)

④ サイドレールのL金具(小)とベッドパネルをボルト(M6×16mm)で止め固定します。(図-5参照)

⑤ L金具(大)を引掛けたボルトを締め固定します。(図-6参照)

⑥ 続いて、パネル(小)に上記①同様に③と同じ手順でパネル(小)とサイドレールを連結します。
この時仮置きさせたサイドレールを少し浮かせてパネル(小)と連結させてください。
(次ページの図7～11参照)

# 3　組立方法（ミドルベッド）

⑦ 組立ボルト(M6×70mm)4本をベッドシェルフの左右側板(上部)の下から通し、サイドレールの下面に止めてください。(下図Ⓐ参照)

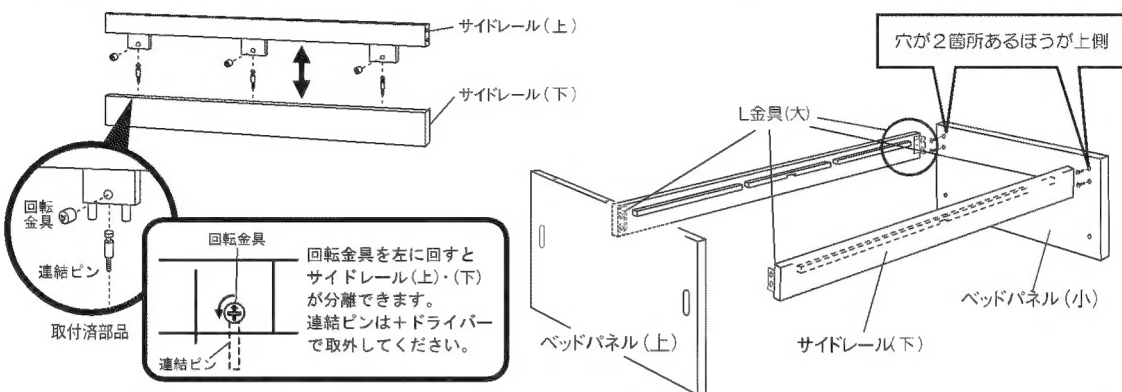
⑧ 開き止め桟を開き止め桟固定ボルト（M6×20mm)2本、開き止め桟固定ナット2本にて取付てください。

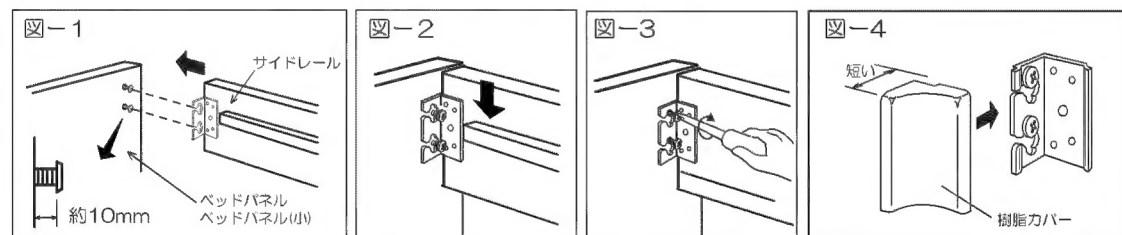
⑨ Ｌ金具(大、小)に樹脂カバー(大、小)をかぶせます。
図-12のように、樹脂カバーの短い方の辺をパネルに沿わしながら、L金具に対し平行にカチッという感触がするところまでスライドさせて取付します。
はずす場合は図-13のようにマイナスドライバー等の先の平らな工具を樹脂カバーの切欠部にあてがい、軽くこじてはずしてください。

⑩ 床板を上図のように注意してはめ込んでください。

| ⚠ 注意　ケガや器物破損の原因となる。 | | |
|---|---|---|
| 表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
| ❗ | ●床板の取り付け方向を逆にしない。 | ケガの原因になります。 |
| ❗ | ●床板を確実にはめ込む。 | ケガや器物損傷の原因になります。 |

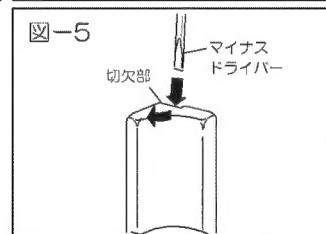
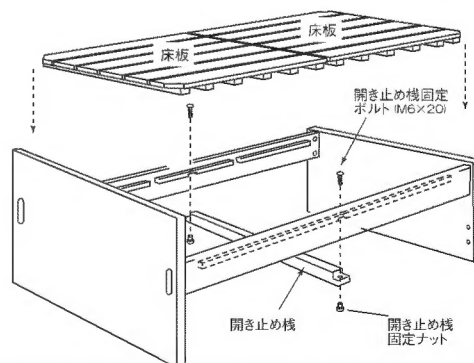
# 3　組立方法（ローベッド）

## (1)ベッドの組立

① サイドレール内側の回転金具3個を回し、サイドレール（上）を取り外します。
次に、残っている連結ピンを取り外しサイドレール（下）を上下逆さまにします。

② ベッドパネル(上)とベッドパネル(小)に組立ボルト(M6×20mm)8本を仮止めします。(ネジ部が10mm程度残るように止める)

③ サイドレール(上)のL金具(大)中央の穴に、②で取付けたベッドパネル及びベッドパネル(小)のボルトを通し、逆さまにしたサイドレール（下）を連結します。〔図-1,図-2参照〕

④ L金具(大)を引掛けたボルトを締め固定します。(図-3参照)

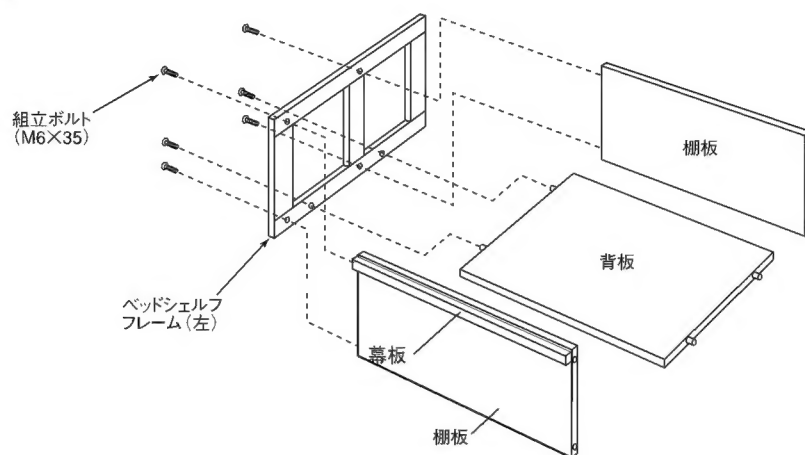
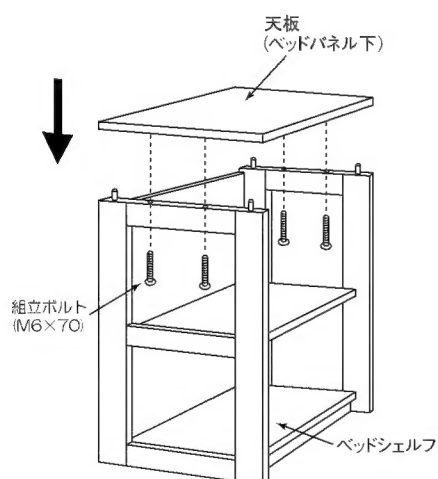
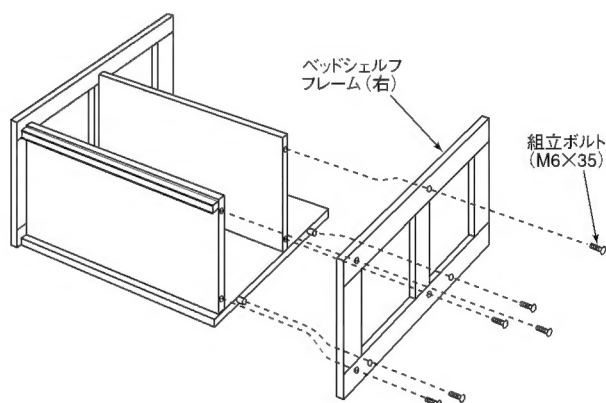
⑤ 開き止め桟を開き止め桟固定ボルト(M6×20mm)2本、開き止め桟固定ナット2本にてしっかりと締め付てください。

⑥ L金具(大、小)に樹脂カバー(大、小)をかぶせます。図-4のように、樹脂カバーの短い方の辺をパネルに沿わしながら、L金具に対し平行にカチッという感触がするところまでスライドさせて取付します。はずす場合は図-5のようにマイナスドライバー等の先の平らな工具を樹脂カバーの切欠部にあてがい軽くこじてはずしてください。

⑦床板を右図のように注意してはめ込んでください。
(角を斜めにカットしている方が、それぞれ外向きになります。)

ローベッドとしてご使用の際は、キズからパネルを保護する為に、フェルトなどをご用意ください。

## (2)シェルフの組立

■付属部品

| 部 品 名 | 部品品番 | 数量 |
|---|---|---|
| 組立ボルト(短:M6×35) | GKU4BA635 | 12本 |

①ベッドシェルフフレーム(左)と棚板1枚、幕板付棚板1枚、背板を組立ボルト(M6×35)6本にて仮締めしてください

②次に反対側のベッドシェルフフレーム（右）を組立ボルト（M6×35）6本で組上げてください。
組み上がりましたら、すべてのボルトをしっかりと締め付けてください。

③②で組み上がったベッドシェルフとベッドパネル(下)を組立ボルト(M6×70)4本にて組上げてください。

※ミドルベッド時のベッドパネル(下)が左図のシェルフ用天板になります。

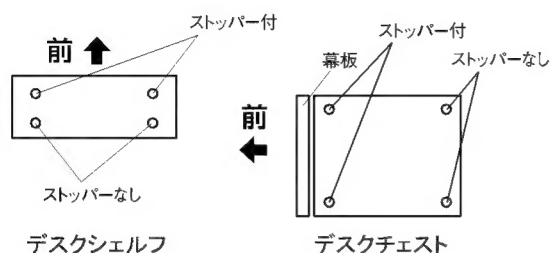
■付属部品

| 部 品 名 | 部品品番 | 数量 |
|---|---|---|
| 組立ボルト( M6×70 ) | GKU4BA670 | 4本 |

※支柱と余った部品は、ミドルベットに組み替えるときに必要となりますので、大切に保管してください。
※余る部品は、木ダボ3本、組立ボルト(M6×70mm)8本です。

## 3　組立方法（デスク）

### (1)キャスターの取付け

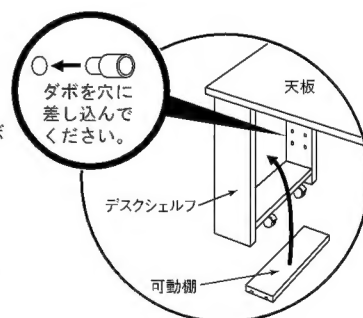
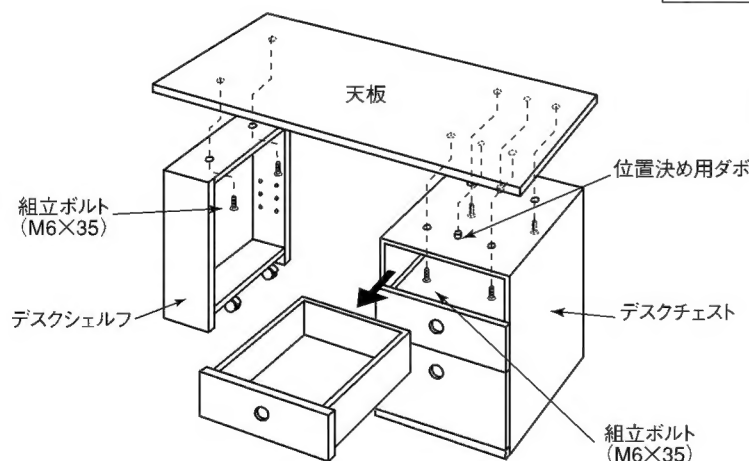
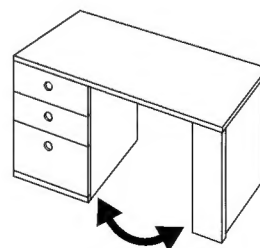
①デスクチェスト・デスクシェルフ 地板の裏にキャスター4個をしっかりと差し込んでください。

➡不十分な場合は､けが･破損･ガタツキの原因になります。

|⚠ 警　告|
|---|
|●天板には20kgを超えるものをのせないでください。<br>➡けが・破損の原因になります。<br>(天板中央部垂直耐荷重:70kg)|
|●天板や引出しの上に乗らないでください。<br>➡けが・破損の原因になります。|
|●激しく動かしたり、押して遊んだりしないでください。<br>➡倒れてけがをしたり、他のものをこわしたりする原因になります。<br>●水平を保つように置いてください。<br>➡ガタツキのまま使っていると、引出しの出し入れがスムーズでなかったり、けが・破損の原因になります。|

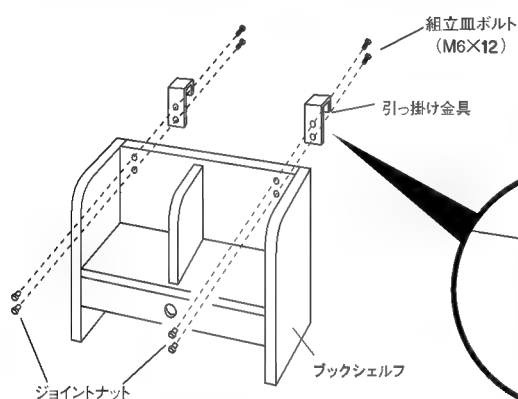
### (2)天板の取付け

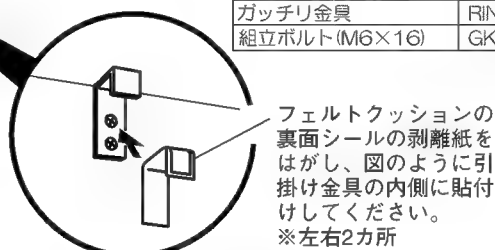
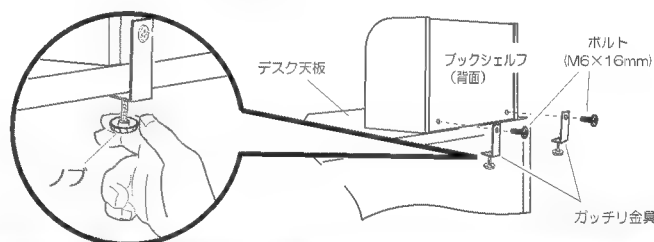
①天板をしずかに デスクチェスト・デスクシェルフの上にのせてください。
②デスクシェルフの内側から組立ボルト(M6×35) 2本にてしっかりと締めつけてください。
③デスクチェスト上段の引出しを抜き取り、内側から組立ボルト(M6×35) 4本にてしっかりと締めつけてください。
④デスクシェルフに棚ダボをお好みの位置に取り付けて可動棚をセットしてください。
⑤カバンフックの取付け方法についてはP12を参照ください。

**■付属部品**

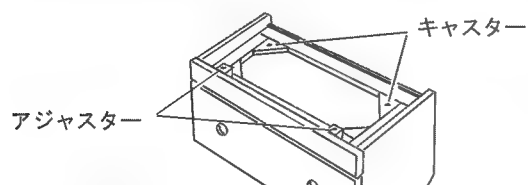
| 部　品　名 | 部品品番 | 数量 |
|---|---|---|
| 組立ボルト(M6×35) | GKU4BA635 | 6本 |
| カギ | | |
| ※HCM-991SK HCM-99SNS | LTFTKD503 | 1組 |
| ※HCM-993PK HCM-994BL | LTF1KD506 | 1組 |
| キャスターセット | SZC8WC946 | 1set |
| | SZCTWC90G | 1set |
| カバンフック | | |
| ※HCM-991SK HCM-99SNS | GKU4KF90R | 1個 |
| ※HCM-993PK HCM-994BL | GKU4KF90W | 1個 |
| カバンフック用ボルト | | |
| ※HCM-991SK HCM-99SNS | GKU4BU615 | 1本 |
| ※HCM-993PK HCM-994BL | GKU4BU61W | 1本 |
| 棚ダボ | SZCTTD850 | 4個 |
| ペントレー | | 1個 |

● デスクチェスト、デスクシェルフは左右付替え可能です。

## 3　組立方法（デスク）

### (3)ブックシェルフの組立

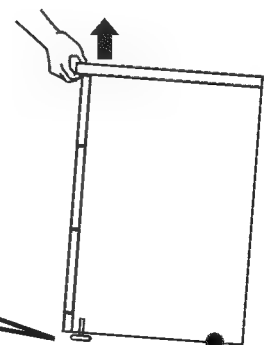
●ベッドのフレームに、ブックシェルフを取り付けて、ご使用になるときは、図のように引っ掛け金具をはさみ込むようにジョイントナット4個と組立皿ボルト4本にて組み上げてください。組立皿ボルトをしっかりと締め付けたあと、拡大図のように、キズ防止のフェルトクッションを貼付けしてください。

**■付属部品**

| 部　品　名 | 部品品番 | 数量 |
|---|---|---|
| 組立皿ボルト(M6×12) | GKU460S12 | 4本 |
| ジョイントナットAタイプ | GKU1JN12A | 4個 |
| 引っ掛け金具 | DRK6HKBKS | 2個 |
| フェルトクッション | GKU6FS212 | 2枚 |
| ガッチリ金具 | RINTGK90G | 2個 |
| 組立ボルト(M6×16) | GKU4BA616 | 2本 |

●天板の上でご使用になるときは、図のようにガッチリ金具2個をボルト(M6×16mm)2本を用いて、取り付けてください。

## 3　組立方法（チェスト）

### (1)キャスターの取付け

①地板の裏、後方にキャスター2個、前方にアジャスター2個を取付けてください。

**■付属部品**

| 部　品　名 | 部品品番 | 数量 |
|---|---|---|
| キャスターセット | SZC8WC947 | 1set |
| アジャスター | GKU8TC840 | 2個 |

②取付けが終わりましたら、チェストが水平になるようにアジャスターを調整してください。
床との隙間は1センチ～1.5センチが目安です。

# 4 使用方法

## (1)フックの取付け

●フックはデスクチェストの側板の左右どちらでも取付できます。
●ベッドのパネル(小)にも取付できます。

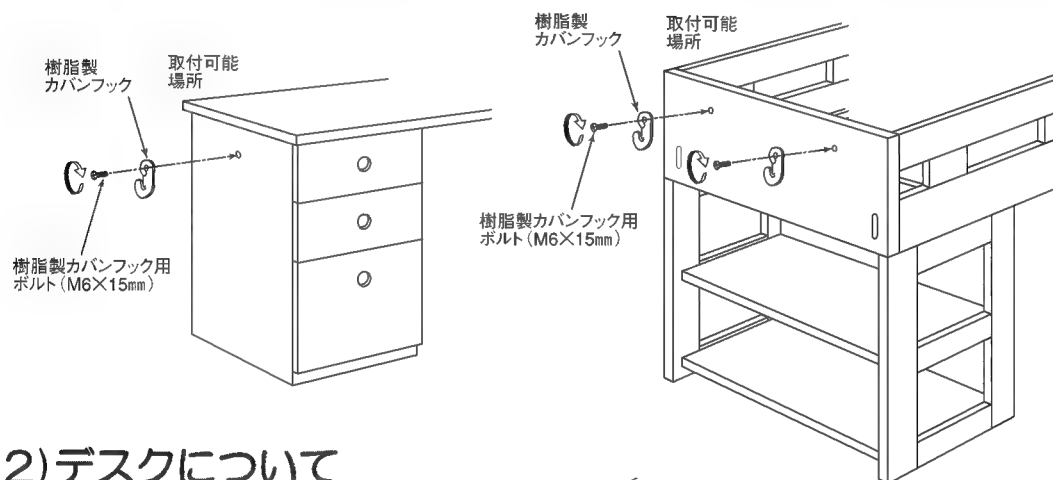
⚠ フックの耐荷重10kg

**■付属部品**

| 部 品 名 | 部品品番 | 数量 |
|---|---|---|
| カバンフック | GKU4KF90W | 2個 |
| カバンフック用ボルト | GKU4BU61W | 2本 |

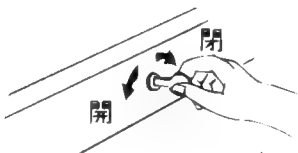
※HCM-993PK / HCM-994BL

| 部 品 名 | 部品品番 | 数量 |
|---|---|---|
| カバンフック | GKU4KF90R | 2個 |
| カバンフック用ボルト | GKU4BU615 | 2本 |

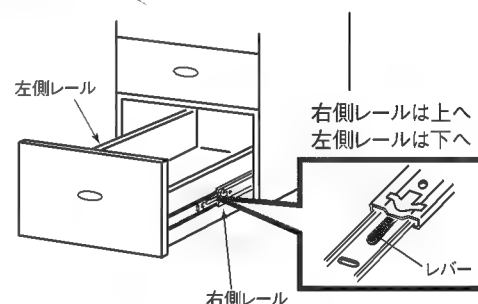
※HCM-991SK / HCM-992NS

## (2)デスクについて

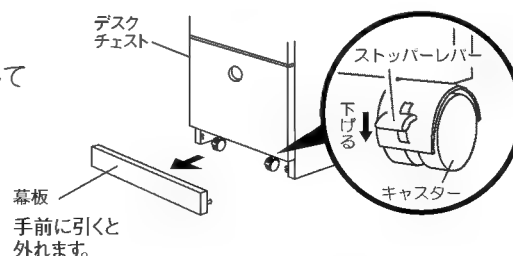
### カギ

●カギを右まわしすると閉ります。
●カギを左まわしすると開きます。

閉
開

### 引出し

**ワゴン下段引出し3段引きレール**

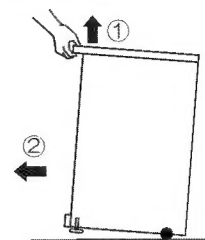
●レバーを上へ(左側は下へ)押しながら引出しを抜くとはずれます。

●デスクはキャスターにより、自由に移動できます。
移動を止めたい時は、デスクチェストの幕板を外してキャスターのストッパーボタンを押してください。

デスク
チェスト
ストッパーレバー
下げる
キャスター
幕板
手前に引くと
外れます。

## (3)照明器具について

●別梱ライト(PCL-840)のケース内に、取扱説明書が入っていますので必ずお読みください。

# 4　使用方法

## (4)チェストについて

●チェストは後方のキャスターにより、自由に移動できます。
移動したい時は、天板前方を両手で持上げて動かしてください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ❗ | ●チェストを移動するときは、引き出しを全て取り外す。 | 指詰めなどケガの原因になります。 |  |

## (5)はしごについて

| ⚠ 注意　ケガや器物破損の原因となる。 | | | |
|---|---|---|---|
| 表示 | 重要事項 | 危害・損害 | |
| 🚫 | ●はしごを使わずにベッドの上段へ上がったり降りたりしない。 | ケガの原因になります。 | はしごを使う |
| 🚫 | ●幼児のいる家庭では、登ったり、ぶら下がったりしないように十分注意する。 | ケガの原因になります。 | ✕ |
| 🚫 | ●ベッドを使用しないときは、着脱式はしごをベッド上段に上げておく。 | ケガの原因になります。 | 使わない時は上段へ上げておきましょう |
| 🚫 | ●はしごをかけるときに指を挟まないようにする。 | ケガの原因になります。 | |

# 5　お手入れ方法

●かたく絞った布等で汚れをふき取ります。
●ひどい汚れは薄めた中性洗剤を含ませた布でふき取ります。

| ⚠ 注意　ケガや器物破損の原因となる。 | | | |
|---|---|---|---|
| 表示 | 重要事項 | 危害・損害 | |
| 🚫 | ●シンナー・ベンジン等でふいたり、殺虫剤をかけたりしない。 | 器物損傷の原因になります。 | |

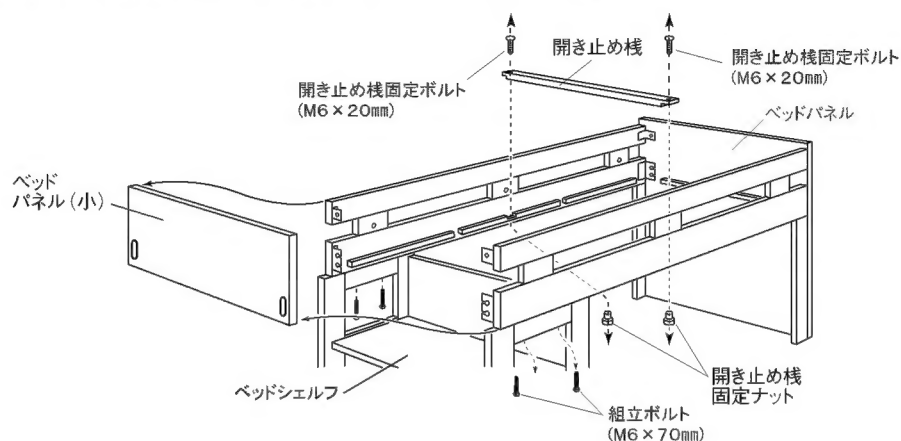
## よくある質問

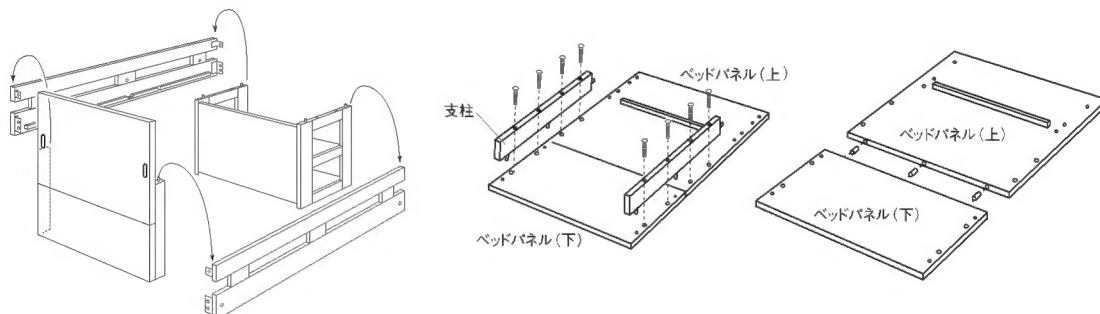
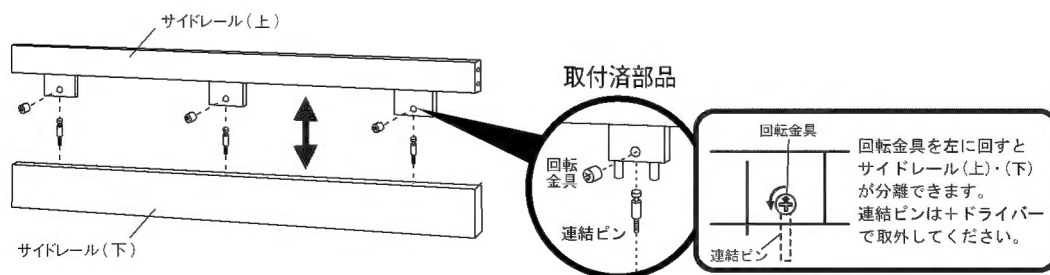
Q：カギやフックをなくしました。どうしたらよいですか？
A：お買い上げの販売店にご相談ください。
Q：机やベッドなどがガタつきます。
A：ボルトが緩んでませんか？緩んでいる場合は、再度ボルトを締めなおしてからご使用ください。
●その他、ご使用に際して異常と思われる場合は、ご使用を中止して、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談室へお問い合わせいただき、安全確認いただいた後、ご使用を再開してください。

## 6 組替え方法(ミドルベッドからローベッドへ)

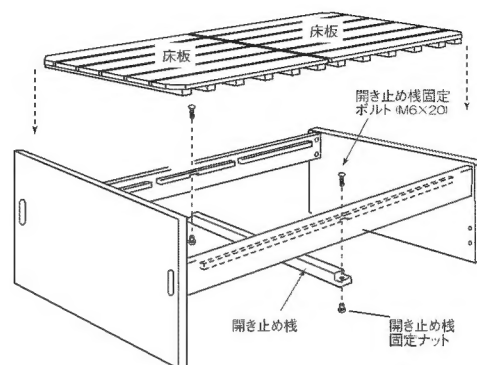
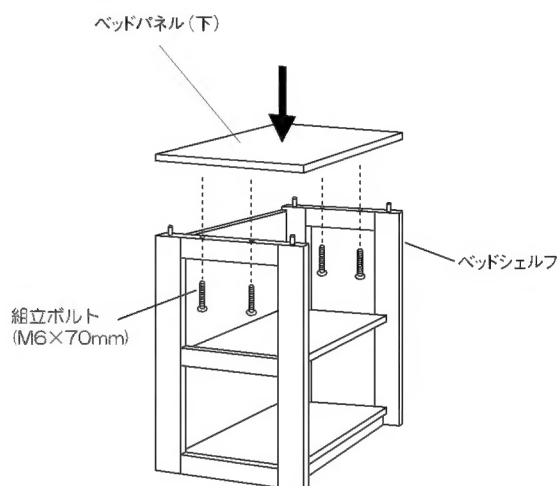
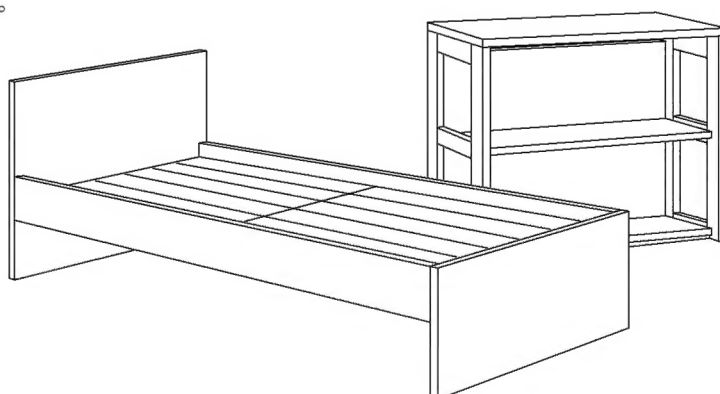
① 床板を取外します。
開き止め桟を外します。

② ベッドシェルフフレーム上部の組立ボルト(M6×70mm)4本を取外します。

③ L金具(大、小)の樹脂カバーを外します。(7ページ、図−13参照)

④ 組立時と逆の手順で、ベッドパネル(小)を取外し、サイドレールとベッドパネルを分離します。

⑤ サイドレールを取外した後、ベッドパネルを分解します。5ページ(2)ベッドパネルの組立の逆の手順で、支柱を取り外し、ベッドパネル上下を分離してください。

⑥ サイドレール(内側)の回転金具3本を回し、サイドレール(上)と連結ピンを取外します。
(8ページ(1)参照)

❗ベッドは重量がありますので、十分注意して作業を行ってください。

## 6　組替え方法(ミドルベッドからローベッドへ)

⑦8ページを参照し、ローベッドを組立ててください。

⑧14ページ⑤で分解したベッドパネル(下)を取外した組立ボルト(M6×70mm)4本でベッドシェルフに取付けます。

⑨ ローベッドの完成です。

❗ローベッドとしてご使用の際は、キズからパネルを保護する為に、フェルトなどをご用意ください。

## 7　点検と修理が必要なとき

**1 より安全にご使用いただくために次のような異常があったときは電器店にご相談ください。**

- ●コンセントや差し込みプラグが異常に熱いとき
- ●器具接合部のゆるみやコードの損傷があるとき

**2 部品交換の場合は電源コードの差し込みプラグを抜いてから交換をしてください。**

- ●ランプの交換

⊘器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
➡火災・感電の原因になります。

**3 取扱説明書どおりに使用されてもまだ不明な点があるときはお買い上げの販売店にご相談ください。**

無断転用を禁ず
(社)日本家具産業振興会
☎03-3261-2805

## 8　コイズミ学習机保証書

| 品番 | HCM-992N NS | |
|---|---|---|
| お客様 | お名前 | |
| | ご住所　〒<br>電話番号（　　　）　　ー | |
| お買い上げ日 | 販売店名・住所・電話番号 | |
| 年　月　日 | | |
| 保証期間（お買い上げ日より） | | |
| 3ヶ年 | | |

＊ご販売店様へ
必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。

この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

コイズミファニテック株式会社
〒557-0063
大阪市西成区南津守2丁目1番30号
TEL　06(6658)7382

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理**をさせていただきます。
①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。**
②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記の相談窓口へご連絡ください。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
④消耗品の消耗、又はそれによる故障
⑤本書のご提示がない場合
⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

## 9　お客様ご相談窓口

**商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。**

**◆お客様相談室**　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号　☎06(6658)7382

**コイズミファニテック株式会社**　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

平成23年現在（所在地、電話番号等については変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）